

2. 広島市東区最高峰

呉娑々宇山 (681.8m)

広島市東区／安芸区



東区の最高峰だが、安芸区との境にあり、安芸区の山でもある。また、登り口や名前の由来などから考えると府中町の山でもある。

| | |
|--------|------------------------|
| 広島市東区 | 2017,4,1 推定 |
| <面積> | 39.42 km ² |
| <人口> | 120,079人 |
| <人口密度> | 3,050人/km ² |

【山行日】 5月7日(日)

☆天候：晴れ

【参加者】 11人 CL三浦美雄子 SL小山 晃

中島(恵) 中島(靖) 藤原 新江 坂井 井原 滝 中島(美) 皿家

【コースタイム】

JR瀬野駅 8:10～スカイレール～公園(ストレッチ) 8:45～立石山登山口 9:10～長者山 10:30～11:00 千丈岩(昼食) 11:30～立石山 12:10～林道 12:40～ 13:15 藤ヶ丸山(コーヒータイム) 13:30～みはらしの丘 14:00～呉娑々宇山 14:20～高尾山 15:40～城ヶ丘公園 16:45～17:00 城ヶ丘入口バス停

【報告】

いい天気に恵まれ8時間コースの出発です。公園でストレッチをしてさあ一出発。立石山登山口の目の前で私(三浦)は少しの段差に足を引っ掛けて転んでしまいました。坂井さんにすぐ保冷剤をタオルで巻いてもらい、なんとか歩けるのでほっとしました。長者山へは急登を登りましたが落ち葉が多く足をとられながらも足場を確保しながら登りました。長者山から今度は一気に下りです。1,2,3と数えて間を空けて下るようにと指示を受け急坂を下りました。それからは小さなアップダウンを繰り返しながら、千丈岩で早めの昼食にしました。昼からの歩きも長いので気を引き締めて歩き、立石山から林道に出ていよいよ後半の藤ヶ丸山、呉娑々宇山へと歩きました。呉娑々宇山で30周年記念山行の写真を撮り下山しました。城ヶ丘公園で各自スト

レッチをしてバス停までおりました。久しぶりのロングコースだったので歩けるか心配しましたが皆さんよく歩かれました。有難うございました。

私事ですが今(10日)私の目のまわりはパンダの目のようになっています。

(記 三浦美雄子)



どうして呉娑々宇山(点名:五八霜山)という名前がついたの？

この山の名前を初めて耳にした時、変わった名前だと誰でも思うのではないだろうか。
「新広島城下町」昭和49年広島郷土史研究会発行の本に下記のような説明があった。(p126)

呉娑々宇山は国司の山荘があったため「御山荘山」といった。それが「五八霜山」と言われるようになり、その後、呉娑々宇山となったものである。

国司とは奈良・平安時代に中央から送られてきた役人である。古代、安芸国の中心地は府中であり、国府もここに置かれていたと言われている。(国司代理の在庁官人の屋敷跡：田所氏宅は特定されているが、国府の遺構は発見されていないので、①東広島市西条にあった、②初めは西条にあったが後に府中に移ったなどの説もある。)

いずれにしても呉娑々宇山麓の広島湾の東は早くから開けていたようで、古代山陽道の重要な拠点であった。国司に関係する山荘が造られていたのかは不明だが、点名(三角点などを設置した時に残されている記録に記された山名)は「五八霜山」である。「ごさんそうざん」から「ごはちそうざん」、そして「ごさそうざん」・・・？

岩屋観音の所在地は東区温品！

呉娑々宇山山系にある岩屋観音は 多くの人の信仰を集め、初観音(旧暦の1月18日)には大きな祭り供養が行われ、多くの屋台も並び、また正月には多くの初詣客でにぎわったそう。～2017,1,1三村さんの山行報告にある。～

観音堂の所在と補修・管理をめぐる争いが府中と温品(広島市東区温品町)の間であったが、後年、話し合いで観音堂は温品の地と決められた。

現在、堂宇等は焼失し、高尾山に至る登山道の途中境内跡に石積遺構や石碑等が残るだけ。(本尊観世音菩薩は、現在は広島市東区の岩谷寺にある。)

岩屋観音跡



東区最高峰呉娑々宇山山頂で

見返りのポーズ 美人・美男子かな？



今までやまぼうしで登った東区の他の山

高尾山 岩屋観音 三本木山
藤ヶ丸 牛田山 木ノ宗山
二ヶ城山 松笠山 鷹の条山